令和4年度指定管理者制度導入施設モニタリング結果

◎ 総合評価について
A・・・・・適正な水準を上回り、非常に評価できる。
B・・・・・適正な水準を維持している。
C・・・・・改善が必要な状態だったが、現在は適正な水準を維持している。
D・・・・・改善が必要

【総合政策部】

施設名	市民体育館、別府体育館、大里体育館、大里総合グラウンド、 江南体育館、江南総合グラウンド、籠原体育館										
指定管理者名	公益財団法人　熊谷市スポーツ協会										
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日（5年間）										
指定管理料（円）	R2	64,394,000	R3	65,000,000	R4	66,000,000	R5	67,000,000	R6	67,000,000	
所管課	スポーツタウン推進課										
総合評価	B										
全施設の利用者数（人）	R2	137,059	R3	194,678	R4	235,207					
全体育館の稼働率	R2	52.1%	R3	70.4%	R4	67.8%					
全グラウンドの稼働率	R2	25.9%	R3	30.9%	R4	33.4%					
総合コメント	新型コロナウイルス感染症対策として、3密の回避、換気、消毒など、基本的な感染症対策を実施しつつ、施設利用者の声に耳を傾け、これまで培った管理ノウハウや管理のあり方を工夫し、施設利用者の要望に応えている。 施設総利用者数は、235，207人と昨年の194，678人から増加しており、コロナ禍前の令和元年度（301，919人）と比較すると約78%まで回復している。 指定管理者による自己評価では、総合評価点が100点満点中87．5点で前年比0．2ポイント上昇しており、感染予防対策の実施による施設利用の不便さについても、利用者に対する丁寧な対応により理解を得ている。 引き続き、施設利用者数をコロナ禍前の水準に戻せるよう、利用者のニーズを踏まえながら、質の高いサービスの提供を目指すとともに、公益財団法人として地域スポーツの振興の役割を担っていく姿勢が確認された。										

【市民部】

施設名	市民活動支援センター										
指定管理者名	特定非営利活動法人NPOくまがや										
指定期間	令和4年4月1日～令和7年3月31日（3年間）										
指定管理料（円）	R4	12,700,000	R5	12,500,000	R6	12,600,000	R7	—	R8	—	
所管課	市民活動推進課										
総合評価	B										
利用者の数の推移（人）	R2	7,215	R3	10,221	R4	12,742					
登録団体の数の推移（団体）	R2	265	R3	278	R4	285					
総合コメント	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、3密の回避、換気、消毒等を実施し、利用者に対して臨機応変に対応し、トラブルのない状況であった。 また、「市民活動」を止めないよう、SNSでセンターや登録団体の情報発信を行い、登録団体は前年度に比べ7団体の増となった。 管理運営についても、ローテーションにより業務に支障がないよう対応している。										

◎ 総合評価について
A・・・・・適正な水準を上回り、非常に評価できる。
B・・・・・適正な水準を維持している。
C・・・・・改善が必要な状態だったが、現在は適正な水準を維持している。
D・・・・・改善が必要

施設名	コミュニティセンター									
指定管理者名	熊谷市社会福祉協議会									
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日（5年間）									
指定管理料（円）	R2	12,556,000	R3	12,670,000	R4	12,823,000	R5	12,882,000	R6	12,969,000
所管課	市民活動推進課									
総合評価	B									
利用件数の推移（件）	R2	846	R3	1,190	R4	1,362				
利用者の数の推移（人）	R2	5,717	R3	9,533	R4	9,915				
総合コメント	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から利用の制限等があったが、解除後も利用者に対して臨機応変に対応し、トラブルのない状況であった。 老朽施設であるが、不具合・故障等がみられる箇所の修繕を行い、利用者が使用しやすいように保たれており、管理運営についても、ローテーションにより適正に対応している。 個人情報の取扱いにも配慮しており、適正な水準を維持しているものと判断できる。									

施設名	大里ふれあいセンター									
指定管理者名	公益社団法人熊谷市シルバー人材センター									
指定期間	令和2年4月1日～令和5年3月31日（3年間）									
指定管理料（円）	R2	7,426,000	R3	7,423,000	R4	7,551,000	R5	—	R6	—
所管課	市民活動推進課									
総合評価	B									
利用件数の推移（件）	R2	172	R3	279	R4	269				
利用者の数の推移（人）	R2	1,420	R3	2,318	R4	2,347				
総合コメント	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から利用の制限等があったが、解除後も利用者に対して臨機応変に対応し、トラブルのない状況であった。 また、カラーコピー機の導入により利用者の利便性の向上を図った。 管理運営についても、ローテーションにより適正に対応している。 個人情報の取扱いにも配慮しており、適正な水準を維持しているものと判断できる。									

◎　総合評価について
A・・・・・適正な水準を上回り、非常に評価できる。
B・・・・・適正な水準を維持している。
C・・・・・改善が必要な状態だったが、現在は適正な水準を維持している。
D・・・・・改善が必要

施設名	葬斎施設									
指定管理者名	五輪・宮本・東京ワックスグループ									
指定期間	令和3年4月1日から令和6年3月31日まで（3年間）									
指定管理料（円）	R3	100,000,000	R4	100,000,000	R5	100,000,000	R6	―	R7	―
所管課	市民課									
総合評価	A									
火葬件数（件）	R2	2,336	R3	2,518	R4	2,632				
式場利用状況（件）	R2	752	R3	692	R4	707				
総合コメント	今年度は、新型コロナウイルス感染症などの影響から、年間のトータルの火葬件数が過去、最多となった。1日の処理件数を最大12件から14件に増やし、また、コロナ火葬のための特別枠を設置するなどし、柔軟かつ適切に対応し1件の事故もなく火葬を執り行うことができた。 また、通常の指定管理であれば、件数に比例して管理者側の収入も増加するが、施設の特殊性から、使用料を管理者側の収入としていない。そのため、収入は増えないが、例年よりも多くの件数を行うことになり、また、想定外のエネルギーの高騰などもあり、一方的に支出のみが増え、当初の収支計画に大きな影響を与えた。 そのような中でも、節電、節約に努めるなど支出面の抑制を図るなどの経営努力を行った。概ね利用者の満足度も高く、民間のノウハウを生かした効率性の高い人員配置や質の高いサービスを提供することができた。									

施設名	健康スポーツセンター									
指定管理者名	株式会社ジェイレック									
指定期間	令和3年4月1日から令和8年3月31日（5年間）									
指定管理料（円）	R3	44,200,000	R4	44,200,000	R5	44,200,000	R6	44,200,000	R7	44,200,000
所管課	健康づくり課									
総合評価	C									
施設利用者数	R2	22,806	R3	49,997	R4	73,445				
施設利用収入	R2	7,031,900	R3	16,149,930	R4	23,727,330				
総合コメント	指定管理者として2年目の年であった。利用者数と利用料収入は昨年度を上回っているが、新型コロナウイルス感染症、また燃料光熱費の高騰の影響を受け厳しい収支状況であった。自主事業の積極的な実施や、利用者からの様々な要望への対応等は一定の評価ができる。人員配置体制について、改善が必要な状態だったが、現在は適正な水準を維持している。									

◎ 総合評価について
A・・・・・適正な水準を上回り、非常に評価できる。
B・・・・・適正な水準を維持している。
C・・・・・改善が必要な状態だったが、現在は適正な水準を維持している。
D・・・・・改善が必要

【福祉部】

施設名	老人福祉センター（別府荘・上之荘・ひかわ荘・江南荘）									
指定管理者名	社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会									
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）									
指定管理料（円）	H30	95,568,000	R1	95,986,000	R2	96,236,000	R3	96,482,000	R4	96,728,000
所管課	長寿いきがい課									
総合評価	B									
利用者数の推移（人）【4施設合計】	R2	21,154	R3	36,219	R4	44,562				
1日平均利用者数（人）【4施設合計】	R2	34	R3	31	R4	39				
総合コメント	年間を通じ、概ね適切に管理運営されていた。 昨年度比で利用者数は8，343人の大幅増となった。 各施設共に老朽化が進んでいるが、別府荘機能訓練室通路床修繕、上之荘水中ブロア交換修繕、ひかわ荘浄化槽ブロア交換修繕、江南荘浴室脱衣所ブラインド交換修繕などを実施し、施設・設備の整備、維持管理に努めた。 また、市と協力して備品台帳を整理するとともに、不要な備品を廃棄した。 昨年度と同様に、別府荘で高齢者の交通安全の啓発に関する講座が開催され、高齢者の生活に資する自主的な取組がなされた。 市が上之荘浴室給湯設備改修工事を実施したが、日程調整や立ち会いなど、上之荘所長を中心として、円滑な工事実施のため率先的に協力した。									

施設名	箱田高齢者・児童ふれあいセンター									
指定管理者名	社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会									
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）									
指定管理料（円）	H30	20,769,000	R1	20,786,000	R2	20,801,000	R3	20,816,000	R4	20,828,000
所管課	長寿いきがい課									
総合評価	A									
利用者数の推移（人）	R2	3,799	R3	6,601	R4	2,395				
1日平均利用者数（人）	R2	19	R3	22	R4	32				
総合コメント	年間を通じ、概ね適切に管理運営されていた。 昨年度比で利用者数は4，206人の大幅減となったが、大規模改修工事実施に係る館内備品の運搬準備のため、令和4年7月1日から臨時休館したことに伴うものであり、一日平均利用者数は増加している。 市が大規模改修工事を実施したが、館内備品の運搬準備のみならず、日程調整や立ち会いなど、箱田高齢者・児童ふれあいセンター所長を中心として、円滑な工事実施のため率先的に協力した。									

◎ 総合評価について
A・・・・・適正な水準を上回り、非常に評価できる。
B・・・・・適正な水準を維持している。
C・・・・・改善が必要な状態だったが、現在は適正な水準を維持している。
D・・・・・改善が必要

施設名	老人憩の家荒川荘									
指定管理者名	公益社団法人熊谷市シルバー人材センター									
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日（5年間）									
指定管理料（円）	R4	1,937,000	R5	1,968,000	R6	2,000,000	R7	2,031,000	R8	2,064,000
所管課	長寿いきがい課									
総合評価	A									
利用者数の推移（人）	R2	572	R3	719	R4	1,598				
1日平均利用者数（人）	R2	2	R3	2	R4	6				
総合コメント	年間を通じ、利用者からの苦情も特に無く、概ね適切に管理運営されていた。 昨年度比で利用者数は879人の大幅増となった。 バリアフリー化改修工事（玄関の段差解消及び床・廊下のカーペットタイルへの改装）を実施し、利用者の安全・安心な施設利用のための環境整備に努めた。 また、廊下にロールスクリーンを設置し、冷暖房の効率化を図った。 会員・市民対象のフレイル予防活動に係る指導者研修会を毎月実施し、今後の活動拡大の準備にも努めた。 市と協力しながら、指定管理者で自主的に管理運営を行っており、その姿勢及び実践が高く評価できる。									

施設名	老人憩の家平戸荘									
指定管理者名	熊谷市平戸自治会									
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日（5年間）									
指定管理料（円）	R4	1,790,000	R5	1,831,000	R6	1,831,000	R7	1,856,000	R8	1,892,000
所管課	長寿いきがい課									
総合評価	B									
利用者数の推移（人）	R2	1,114	R3	1,843	R4	1,960				
1日平均利用者数（人）	R2	6	R3	6	R4	7				
総合コメント	年間を通じ、利用者からの苦情も特に無く、概ね適切に管理運営されていた。 昨年度比で利用者数は117人の増となった。 舞台用カーテンの交換、消火器の交換などを実施し、施設・設備の整備、維持管理に努めた。 また、FAX付電話機を設置し、災害時等における緊急連絡体制の強化を図った。 例年通り、定期的な除草剤の散布、樹木の伐採、植栽の剪定及び手入れ、障子張替などを行い、快適・清潔で利用しやすい施設内外の環境整備のために配慮している。 市と協力しながら、指定管理者で自主的に管理運営を行っており、その姿勢及び実践が高く評価できる。									

◎　総合評価について
A・・・・・適正な水準を上回り、非常に評価できる。
B・・・・・適正な水準を維持している。
C・・・・・改善が必要な状態だったが、現在は適正な水準を維持している。
D・・・・・改善が必要

施設名	老人憩の家吉岡荘										
指定管理者名	有限会社後藤衛生コンサルタント										
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年間）										
指定管理料（円）	R3	1,780,000	R4	1,800,000	R5	1,820,000	R6	1,840,000	R7	1,860,000	
所管課	長寿いきがい課										
総合評価	B										
利用者数の推移（人）	R2	1,654	R3	4,196	R4	4,591					
1日平均利用者数（人）	R2	8	R3	15	R4	16					
総合コメント	年間を通じ、利用者からの苦情も特に無く、概ね適切に管理運営されていた。 昨年度比で利用者数は395人の大幅増となった。 施設の広報活動、新規利用団体の開拓、自主事業の企画などに積極的であり、老人憩の家3施設で最も利用者数が多い。 指定管理者で自主的に避難・消火訓練を実施し、管理人及び利用団体の防災に関する知識向上、意識啓発を図った。 施設内は常に清潔に清掃されており、節電・省エネルギーにも努めている。										

施設名	障害福祉会館										
指定管理者名	特定非営利活動法人　熊谷市身体障害者福祉会										
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）										
指定管理料（円）	H30	6,730,791	R元	6,908,114	R2	6,791,416	R3	6,793,466	R4	6,925,873	
所管課	障害福祉課										
総合評価	B										
利用者数の推移（人）	R2	4,007	R3	4,975	R4	8,739					
利用料金の推移（円）	R2	159,870	R3	196,710	R4	155,030					
総合コメント	貸し館業務において、心身に障害のある方の利用が中心となること及びその他地域の活動の拠点としての役割を自覚し、年間を通して苦情もなく円滑に運営されていた。年間利用者数は。昨年度と比べ、3，764人増加した。 施設は、建築から44年が経過して老朽化しているが、適宜修繕を行い、施設の維持に努めている。また、清掃等が、こまめに行われており、館内は常に清潔に保たれていた。また、新型コロナウイルス感染症対策も適切に行われていた。 さらに、会館が本市指定の「福祉避難所」であることから、自主的な備蓄用品の確保や施設入口には障害のある方向けの防災グッズの展示を行うなど、利用者へ防災に対しての広い啓発を行うなど、危機管理に対する意識も高かった。 その他指定管理者の経営基盤は安定しており、以上から総合的に適正な水準を維持していたと認められる。										

◎ 総合評価について
A・・・・・適正な水準を上回り、非常に評価できる。
B・・・・・適正な水準を維持している。
C・・・・・改善が必要な状態だったが、現在は適正な水準を維持している。
D・・・・・改善が必要

【産業振興部】

施設名	商工会館									
指定管理者名	熊谷商工会議所									
指定期間	令和3年4月1日～令和6年3月31日									
指定管理料（円）	R3	2,240,000	R4	2,230,000	R5	2,230,000	R6	―	R7	―
所管課	商工業振興課									
総合評価	B									
会館利用件数	R1	3,744	R2	2,998	R3	3,406				
使用料収入（円）	R1	5,469,175	R2	4,116,035	R3	4,785,805				
総合コメント	貸館業務について減免対象となる公的利用も多い中、利用件数を保ち、安定的な運営を行っている。 施設の老朽化が著しいが、定期的な保守点検や職員によって適宜点検が行われており、問題点を早急に発見し及び解決するように努めている。 総合的に判断し、適切な水準を維持している。									

施設名	勤労青少年ホーム、熊谷勤労者体育センター、勤労会館									
指定管理者名	日本環境マネジメント株式会社									
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）									
指定管理料（円）	H30	25,555,000	R1	25,947,000	R2	26,434,000	R3	26,889,000	R4	27,013,000
所管課	企業活動支援課									
総合評価	**B**									
利用者数の推移 ※3館の合計	R2	41,493	R3	57,046	R4	62,906				
利用料金の推移 ※3館の合計	R2	3,115,830	R3	4,697,790	R4	4,732,110				
総合コメント	平成30年度から令和4年度までの5年間の指定管理者である。 利用料金は、新型コロナウイルス感染症流行前（参考：H30年度5,070,400円）に近づき、回復傾向にある。 施設の老朽化が著しいが、適切に点検を実施し、問題点を早急に発見、解決するように努めている。 総合的に判断し、適切な水準を維持している。									

◎ 総合評価について
A・・・・・適正な水準を上回り、非常に評価できる。
B・・・・・適正な水準を維持している。
C・・・・・改善が必要な状態だったが、現在は適正な水準を維持している。
D・・・・・改善が必要

【都市整備部】

施設名	熊谷運動公園									
指定管理者名	シンコースポーツ・熊谷ハートフルグループ・ジョンソンコントロールズ共同事業体									
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日（5年間）									
指定管理料（円）	R4	184,800,000	R5	184,800,000	R6	184,800,000	R7	184,800,000	R8	184,800,000
所管課	公園緑地課									
総合評価	B									
利用者数（人）	R2	118,421	R3	208,813	R4	230,542				
上記の内室内プールの利用者数	R2	22,585	R3	44,711	R4	40,348				
総合コメント	指定管理期間（5年間）の1年目、指定管理者制度導入後通算14年目であり、これまでの経験を活かした適正な施設の管理運営が行われていた。 利用率では、有料施設全体の利用者数が230，542人で前年度より21，729人の増（前年度比110．4%）、利用料金収入が3，343，885円の増（前年度比109．2%）と共に増加した。しかし、コロナ禍前に30万人を超えていた利用者数には届かず、厳しい状況が続いている。そうした状況下において、自主事業として屋外プール除却に伴うお別れイベントやキッチンカー出店事業など新たな事業を行うなど、身近に感じてもらい利用促進に取り組んでいると評価できる。 令和4年度から新しい指定管理期間となったが、これまでの管理運営で培ってきた経験をもとに、更なる利用者サービス向上に向けた施設運営に期待したい。									

施設名	江南総合公園									
指定管理者名	特定非営利活動法人　グリーンアップ熊谷									
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年間）									
指定管理料（円）	R3	13,060,000	R4	13,060,000	R5	13,100,000	R6	13,240,000	R7	13,240,000
所管課	公園緑地課									
総合評価	B									
利用人数（人）	R2	16,694	R3	22,118	R4	24,087				
利用料収入（円）	R2	247,110	R3	378,150	R4	288,530				
総合コメント	指定管理者として3期目、令和4年度はその2年目にあたり、これまでの経験を活かした適切かつ円滑な施設運営を行っていた。 昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染対策を施した施設運営を求められたが、公園利用者数は1，969人増加（前年度比108．9%）した。一方、埼玉武蔵ヒートベアーズの利用が6月以降なかったこともあり、利用料金収入は89，620円減少（前年度比76．3%）した。 巡回や声掛けを積極的に行い、公園利用者の方が気持ちよく公園を利用できるような施設運営ができていたと評価できる。 令和5年度は指定管理期間（5年間）の3年目にあたるが、新型コロナウイルス感染症による制限等が原則なくなったこともあり、利用者により満足いただける施設運営に期待したい。									

◎　総合評価について
A・・・・・適正な水準を上回り、非常に評価できる。
B・・・・・適正な水準を維持している。
C・・・・・改善が必要な状態だったが、現在は適正な水準を維持している。
D・・・・・改善が必要

施設名	妻沼運動公園,利根川総合運動公園,妻沼東運動公園,妻沼西第一公園, 妻沼西第二公園,妻沼西第1緑地,妻沼西第2緑地,妻沼西第3緑地, 妻沼西第4緑地,妻沼西第5緑地,別府沼公園									
指定管理者名	日本環境マネジメント㈱									
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日（5年間）									
指定管理料（円）	R4	105,098,000	R5	104,567,000	R6	104,632,000	R7	104,762,000	R8	104,741,000
所管課	公園緑地課									
総合評価	B									
利用人数（人）	R2	56,591	R3	80,050	R4	84,610				
利用料収入（円）	R2	4,492,380	R3	6,726,805	R4	6,454,565				
総合コメント	令和4年度の有料施設利用者数は昨対4，560人増、これに対し利用料金は昨対272，240円減となり、昨年度の数字を下回る結果となった。近隣他市町村のスポーツ施設等が新型コロナウイルス感染症対策による休館が終了し、市外からの流入が減ったことが要因と考えられる。 指定管理3期目初年度であった本年度は、大きな事故もなく安全に運営を行うことができた。施設・設備は仕様書に基づき適切に維持管理し、利用者からの要望にも迅速に対応している。 自主事業については、新しい教室を企画し新規の参加者を獲得しようと意欲的に取り組んでいる。来年度も市民の健康増進に寄与する自主事業の実施を期待したい。 また、令和4年度から、多目的ゴルフひろばの利用が開始がされた。今後もこれらを十分に活かし魅力のある公園づくりをしてもらいたい。									

施設名	中央公園、熊谷荒川緑地、村岡荒川緑地、久下荒川緑地									
指定管理者名	グリーントライアングル熊谷									
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日(5年間)									
指定管理料（円）	R2	31,098,000	R3	31,578,000	R4	31,898,000	R5	32,388,000	R6	32,838,000
所管課	公園緑地課									
総合評価	B									
緑化センター利用人数（人）	R2	5,830	R3	11,010	R4	14,995				
荒川緑地利用人数（人）	R2	90,480	R3	150,664	R4	152,514				
総合コメント	指定管理者2期3年目であった本年度は、新型コロナウイルスに関するガイドラインの改定や、新しい公共予約システムの導入等へ、適切に対応し、大きな事故やトラブル等なく、円滑な運営が行われた。 利用者数は、前年度比で中央公園内の緑化センターが3,985人の増加、荒川緑地が1,850人の増加であった。利用者数が前年度より増えており、新型コロナウイルス感染拡大前に戻りつつある。 令和5年度は指定管理者2期4年目となるが、新型コロナウイルス感染症が5類に位置づけられたことから、施設全体の利用者の増加に向けて、魅力ある公園づくりへ積極的に取り組むことを期待したい。									

◎　総合評価について
A・・・・・適正な水準を上回り、非常に評価できる。
B・・・・・適正な水準を維持している。
C・・・・・改善が必要な状態だったが、現在は適正な水準を維持している。
D・・・・・改善が必要

【妻沼行政センター】

施設名	妻沼勤労福祉会館										
指定管理者名	くまがや市商工会										
指定期間	令和2年4月1日から令和7年3月31日（5年間）										
指定管理料（円）	R2	1,950,000	R3	1,950,000	R4	1,950,000	R5	1,950,000	R6	1,950,000	
所管課	妻沼行政センター										
総合評価	B										
利用回数（回） ［利用状況報告書より］	R2	133	R3	235	R4	472					
利用回数（人） ［利用状況報告書より］	R2	1,940	R3	2,871	R4	3,758					
総合コメント	指定管理者は当該施設内に事務所を構えており職員の日常清掃等による衛生管理、日常点検による安全管理や効率的な運営を行って利用者の利用性向上に努めている。 また、利用者数を増加させるため商店街の振興や観光振興に関わる研修会、勤労者を対象とする研修等の商工会自主事業も開催している。 指定管理者が適切な体制で運営し対応しているため、利用者からの苦情等についてはない。										

【教育委員会】

施設名	熊谷文化創造館、大里生涯学習センター、江南総合文化会館										
指定管理者名	公益財団法人熊谷市文化振興財団										
指定期間	令和2年4月1日　～　令和7年3月31日（5年間）										
指定管理料（円）	R2	222,520,000	R3	223,830,000	R4	226,400,000	R5	228,880,000	R6	231,370,000	
所管課	社会教育課										
総合評価	B										
3館自主事業入場者数	R2	2,603	R3	7,406	R4	11,834					
ホール稼働率（%） 熊谷文化創造館・太陽	R2	20.7	R3	45.8	R4	38.2					
ホール稼働率（%） 熊谷文化創造館・月	R2	43.8	R3	67.7	R4	47.5					
ホール稼働率（%） 大里生涯学習センター	R2	19.7	R3	14.0	R4	15.1					
ホール稼働率（%） 江南総合文化会館	R2	4.4	R3	10.1	R4	14.7					
総合コメント	令和4年度は、新型コロナウイルスの感染拡大による休館はなかったが、施設運営ガイドライン及び運営指針に沿い、感染防止対策の徹底を図りながら適切に貸館業務及び自主事業を実施した。自主事業は、令和2年度は9公演だったが、4年度は21公演を実施することができ、入場者数も回復しつつあり、3館施設とも適切な管理運営がなされていた。 また、施設利用者に対しては、親切丁寧な利用案内を行い、利用者サービスの向上に努め、施設・設備の維持管理、清掃等も適切に実施していた。										

◎ 総合評価について
A・・・・・適正な水準を上回り、非常に評価できる。
B・・・・・適正な水準を維持している。
C・・・・・改善が必要な状態だったが、現在は適正な水準を維持している。
D・・・・・改善が必要

施設名	スポーツ･文化村										
指定管理者名	アイル･オーエンスグループ										
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日（5年間）										
指定管理料（円）	R2	87,400,000	R3	87,400,000	R4	87,400,000	R5	87,400,000	R6	87,400,000	
所管課	社会教育課										
総合評価	A										
施設利用者数（人）	R2	143,988	R3	230,899	R4	224,203					
自主事業参加者数（人）	R2	377	R3	2,603	R4	1,854					
総合コメント	年度を通して適正かつ効率的に管理運営がなされた。また、公平公正な施設利用の促進に尽力した。 市執行の設備改修工事が休館日での実施となったため、施設保守等の予定を変更する必要が生じたが、保守業者と協議し日程変更や工程変更を行い、改修工事及び施設保守が滞りなく実施できるよう積極的に協力した。また工事に伴い、一部施設が長期に利用できないことを利用者に丁寧に説明し、理解を得られるよう努めた。さらに、工事の進捗状況に注視し、早期利用再開の要望を市に伝え、利用者の利便性向上に貢献した。 新型コロナウイルス感染症感染防止対策のための施設ガイドラインに沿った利用を促し、安心して利用できる環境の提供に努めた。また、ワクチン接種会場の提供のため、既予約団体との調整など積極的に協力した。 施設管理において、施設・設備の不具合に迅速に対応し、早期復旧の対策を講じ利用者が安全に利用できるよう努めた。また、清掃状況は良好で、施設内の巡回を頻繁に行うなど、快適に利用できるよう努めた。 利用者からの意見を真摯に受け止め、改善・解決に取り組んだ。また、利用者と良好な関係を築くためにコミュニケーションに積極的な姿勢を示している。										

施設名	荻野吟子記念館										
指定管理者名	NPO法人めぬまガイドボランティア阿うんの会										
指定期間	令和４年４月１日～令和９年３月３１日（５年間）										
指定管理料（円）	R4	3,790,000円	R5	3,850,000円	R6	3,940,000円	R7	4,020,000円	R8	4,100,000円	
所管課	妻沼中央公民館										
総合評価	B										
利用者数の推移（人）	R2	4,122	R3	5,192	R4	5,420					
団体数（団体）	R2	21	R3	22	R4	56					
利用者数のうち団体人数（人）	R2	549	R3	582	R4	1,206					
開館日数（日）	R2	250	R3	308	R4	309					
１日当たりの来館者数（人）	R2	16.49	R3	16.86	R4	17.54					
総合コメント	・令和４年度は、２回目の指定管理であり、ガイドや館の管理等には実績があるのでスムーズに進められていた。 また、新人研修会やガイド内容及び館の管理等の統一を図るため、定例打合せ会議を毎月、休館日に行っており、共通の認識が図られている。 ・団体の申込がある場合は、説明者の人数を増やして対応している。 ・定期的に吟子紙芝居班（女性会員）が読み合わせ会を行っている。熊谷市だけでなく、埼玉県内の公民館等へ出前授業に出かける等、意欲的に活動している。また、紙芝居と一緒にマジック（阿うんの会会員）で施設慰問等にも積極的に出かけている。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながらも、多くの人に吟子について広める努力をしている。 ・令和４年度は、８月ガイドを休止したが、見学は可能であり各種パンフレットも用意していた。										